

コレクションにみる 高岡の金工・漆芸 出品目録



※No.16のみ個人蔵（高岡市美術館寄託）

※出品作品および展示期間は都合により変更される場合があります。

No.	作者名	制作年	作品名	技法・材質・形状など	寸法	初出展
【金工】						
明治の職人技						
1	増山 長三郎	生没年不詳	羅漢図金銀象嵌大飾皿	明治22年以降	彫金	高2.7 径52.0
2	初代 須賀 松園	1863-1935	攀龍文大花瓶	大正-昭和初期	鍍金	高71.5 口径42.0 胴径44.0
鍍金						
3	酒井 静女	1909-1992	蠟型鍍銅花器	昭和40 (1965)	鍍金	高11.5 幅32.0 奥行32.0 1965 第8回新日展
4	般若 保	1941-	吹分花器	平成5 (1993)	鍍金	高26.0 幅26.0 奥行16.0 1993 第40回日本伝統工芸展 日本工芸会総裁賞
5	般若 勘溪	1933-	砂張水指	平成30 (2018)	鍍金	高13.0 径23.5 2018 第57回日本伝統工芸富山展 高岡市長賞
彫金						
6	北 重信	1907-1998	海老文一刀彫鍍銅花瓶	昭和51 (1976)	彫金	高33.5 口径9.2 胴径21.0 1977 現代富山県金工展(高岡市立美術館)
7	鳥田 宗吾	1940-	色絵重高肉象嵌飾皿「海老」	平成7 (1995)	彫金	縦35.0 横35.0 高3.0 1996 高岡市伝統工芸産業技術保持者 巧美会展
鍛金						
8	槻尾 宗一	1915-1992	鉄花盛器	昭和11 (1936)	鍛金	高18.0 幅30.7 奥行16.6 1936 昭和11年文展(鑑査展) 入選
人間国宝						
9	金森 映井智	1908-2001	象嵌鍍銅花瓶	平成3 (1991)	彫金	高20.8 口径10.8 胴径20.0 1991 第21回伝統工芸日本金工展
10	大澤 光民	1941-	鍍ぐるみ鍍銅花器	平成11 (1999)	鍍金	高39.4 幅29.1 奥行12.3 1999 第38回日本伝統工芸富山展 日本工芸会賞
造形の挑戦						
11	大角 勲	1940-2010	ねばり	昭和47 (1972)	鍍金	高176.0 幅33.0 奥行23.0 1972 第4回改組日展
【漆芸】						
伝統の継承と明治						
12	不詳		鳳凰菊唐草文五重箱		存星	高25.5 幅33.0 奥行19.5
13	二代 石井 勇助	1843-1897	福寿文勇助塗飾棚	明治14頃 (c.1881)	勇助塗(蒔絵、錆絵、玉石)	高97.5 幅68.5 奥行35.0 1881 第2回内国勧業博覧会
14	内務省勸商局製品画図掛 印		図案(福寿文勇助塗飾棚)	明治11頃 (c.1878)	紙、墨、彩色	縦56.5 横51.0
15	彼谷芳水	1899-1994	水辺の鶴衝立	昭和36 (1961)	石象嵌塗	36.5 1961 第14回高岡市美術展覧会
乾漆						
16	後藤 義雄	1926-2013	乾漆紅梅食籠	昭和62 (1987)	乾漆	高11.0 径23.0
17	宮下 芳洋	1940-	乾漆輪花大皿	平成24 (2012)	乾漆	直径40.0 高2.8 2012 第18回高岡市民美術展 高岡市美術館芸術選奨
堆朱と彫刻塗						
18	堀江 是閑	1892-1958	松虫文堆朱香合		彫漆	高3.0 幅7.4 奥行6.5
19	室谷 芳月	1900-1985	唐獅子文堆朱平卓	昭和30頃 (c.1955)	彫漆	高15.0 幅63.5 奥行34.0
20	和田 長次郎	1882-1955	鯛盆	昭和14 (1939)	彫刻塗	高3.0 幅36.0 奥行29.0
蒔絵						
21	山崎 覚太郎	1899-1984	唐獅子文金蒔絵菓子器	大正13頃 (c.1924)	蒔絵	高1.6 幅18.7 奥行18.7
青貝塗・厚貝						
22	木村 天紅	1887-1950	蟹文螺鈿飾壺		螺鈿	高17.5 胴径15.7
23	今井 孝雄(宗潤)	1941-	螺鈿文箱	昭和59 (1984)	螺鈿	高15.0 幅27.0 奥行15.0 1984 第31回日本伝統工芸展
24	武蔵川 貢山	1914-2008	青貝普賢菩薩漆塗飾鉢	昭和58 (1983)	螺鈿	高4.5 径39.0